





世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 15 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

人類は、文字を獲得して以来、様々な記録を残してきた。古代のメソポタミアでは、^(a)楔形文字によって行政や財政の記録が刻まれていたが、やがて出来事のリストや代々の王の事績を記した碑文も製作されるようになる。また、こうした王たちの記録は、古代エジプトでもかなりの長期にわたって作成されていた。そこから、過去を記録する歴史記述が成立するのである。

ところで、古代ギリシアはオリエントやエジプトの文明から大きな影響を受けており、「歴史の父」と呼ばれるヘロドトスも東方世界について多くのことを書き残している。しかし、彼は、それらの地域に見られた歴史記述のスタイルに直接の影響を受けてはいない。その著作『歴史』は、同時代のペルシア戦争を題材とし、自身の様々な見聞を交えて記されたものである。同時代の歴史を描いたという点では、トゥキディデスも同じである。彼の著作は、ギリシア諸勢力の衝突を描いたペロポネソス戦争の歴史であった。もともと、トゥキディデスは、豊富なエピソードを交えて物語風の歴史を綴ったヘロドトスとは異なり、史料批判を行ったうえで客観的な記述に努めたため、「科学的歴史記述の祖」とも称されている。^(e)

ギリシアから大きな文化的影響を受けた古代ローマでも数多くの歴史記述が生み出されたが、記述の内容やスタイルという点では独自の展開が見られる。リウイウスは、『ローマ建国史』において、ロムルスによる建国から同時代までの歴史を記し、ローマ人の歴史意識に大きな影響を与えた。また、古ゲルマンの社会や習俗を描いた『ゲルマニア』で有名なタキトゥスは、『年代記』でネロ帝に至るまでのローマ帝政を批判的に描いている。

こうした歴史記述の豊かな伝統は、中世ヨーロッパにおいても完全に途絶えるわけではない。たとえば、カロリングルネサンスの時期、アインハルトは古典のスタイルを意識したカール大帝の伝記を著している。しかし、こうした作品は決して中世の歴史記述の主流を占めてはいなかった。中世でとりわけ強い影響力を誇ったのは、キリスト教が普及して以降に登場する「世界年代記」と呼ばれる記述形式であった。ユダヤ教的時間意識を引継いだこのスタイルは、中世の教会や^(j)

修道院でしばしば採用されたのである。

ただし、中世ヨーロッパで多くの歴史記述が著されたとはいえ、神学や哲学^(k)が知の世界を支配していたこの時代、歴史学は大学において固有の学問とは認められていなかった。大学で歴史学の講座が設置されるのは、ルネサンスや宗教改革^(l)によって学問のあり方が大きく変わる 16 世紀を待たねばならないのである。

問 1 下線部(a)に関連して、文字の発明や解読の歴史についての説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ソンツェン=ガンポのもとで、チベット文字が作成された。
- B. 線文字Aは、ヴェントリスによって解読された。
- C. 契丹文字は、女真文字と漢字をもとに作成された。
- D. 神聖文字は、ローリンソンによって解読された。

問 2 下線部(b)に関連して、古代エジプトの支配者たちの事績を古い順に並べたものを一つ選びなさい。

- (あ) プトレマイオスが、アレクサンドリアを都にした。
 - (い) クフ王が、ギザにピラミッドを建てた。
 - (う) アメンホテプ4世が、唯一神信仰を強制した。
 - (え) ラメス(ラメセス)2世が、カデシュでヒッタイトと戦った。
- A. (あ)→(い)→(う)→(え) B. (あ)→(い)→(え)→(う)
C. (い)→(う)→(え)→(あ) D. (い)→(え)→(う)→(あ)

問 3 下線部(c)について、その説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. イオニア植民都市が、キュロス2世に反乱を起こした。
- B. テルモピレーの戦いでは、アテネ軍が全滅した。
- C. マラトンの戦いでは、ペイストラトスが重装歩兵を率いた。
- D. プラタイアの戦いは、ギリシア軍の勝利を決定づけた。

問 4 下線部(d)について、その原因や過程、結果についての説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 傭兵制が廃れ、リュクルゴスによって市民軍が確立された。
- B. スパルタを中心としたコリントス同盟が、戦争に勝利した。
- C. ペリクレスが没した後、アテネは衆愚政治を経験した。
- D. 戦争終結後のスパルタの覇権は、マケドニアに奪われた。

問 5 下線部(e)に関連して、歴史学の発展についての説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. ランケが、厳密な史料批判の方法を確立した。
- B. 銭大昕が、公羊学をもととした史学研究法を確立した。
- C. リストは、経済発展を歴史的に考察しようとした。
- D. イブン=ハルドゥーンは、都市と遊牧民の関係から歴史理論を展開した。

問 6 下線部(f)に関連して、中国における歴史記述の形式と、それにより記された作品およびその著者の名前の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 編年体—司馬遷『史記』 紀伝体—司馬光『資治通鑑』
- B. 編年体—司馬光『史記』 紀伝体—司馬遷『資治通鑑』
- C. 編年体—司馬遷『資治通鑑』 紀伝体—司馬光『史記』
- D. 編年体—司馬光『資治通鑑』 紀伝体—司馬遷『史記』

問 7 下線部(g)に関連して、トロイアの陥落からローマ建国までをうたった文学作品として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. イリアス B. 神統記
- C. アエネイス D. オデュッセイア

問 8 下線部(h)に関連して、古代のゲルマン人社会で見られた制度として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 屯田兵制 B. 従士制 C. 恩貸地制 D. 軍管区制

問 9 下線部(i)について、その治世下の出来事として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 西ゴート王国の滅亡 B. ノルマンディー公国の成立
C. クリュニー修道院の創建 D. ランゴバルド王国の滅亡

問10 下線部(j)に関連して、ユダヤ人の歴史についての説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. フランスの委任統治が終了して、イスラエル共和国が建国された。
B. モーセに率いられたユダヤ人は、パレスチナを脱出した。
C. 新バビロニアが、ユダヤ人のバビロン捕囚を行った。
D. 反ユダヤ主義によって、ブーランジェ事件が起こった。

問11 下線部(k)に関連して、アヴェロエスのラテン名で知られ、ヨーロッパの思想に大きな影響を与えたイスラームの哲学者として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. イブン=バットウータ B. イブン=ルシュド
C. フィルドゥシー D. ガザーリー

問12 下線部(l)に関連して、16世紀の学問的成果の説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. コペルニクスが、『天球回転論』を発表した。
B. トスカネリが、地球球体説を唱えた。
C. ニュートンが、『プリンキピア』で古典物理学を確立した。
D. ロジャー=ベーコンが、経験論的な自然科学の研究法を説いた。

〔Ⅱ〕 次の文章(1)～(3)を読み、下記の問いに答えなさい。

(1) モンゴル高原に最初に騎馬遊牧国家を築いた匈奴は、勢力を拡大させる過程で、各方面に民族移動を起こさせた。そのなかで初期の動きとなるのが、月氏の移動である。中国西北部の甘肅からモンゴル高原西南部の一带で遊牧生活を送っていた月氏は、紀元前2世紀前半に匈奴の圧迫を受けて、天山山脈の北のイリ地方に遷り、ついで匈奴に支援された ア がイリに進出すると、それに押されて西方へと再遷させられた。

月氏は再遷の結果、アム川上流に落ち着き場所を見出し、大月氏と呼ばれることになる。その大月氏のもとに、前漢の武帝が送った使者の イ が訪れた。漢側は匈奴に反感を抱く大月氏と提携し、東と西から匈奴を挟撃し、その弱体化を図ろうとしたが、大月氏は同意しなかった。大月氏はその後、アフガニスタン北部にあったバクトリア王国を支配した大夏を征服し、東西文化の接点に立った。そしてこの支配下から、^(a)インド西北部に拠点^(b)を置くクシャーナ朝が生まれることとなった。

他方、大月氏との提携に失敗した漢であるが、その使者がもたらした西方(西域)の情報は、武帝の関心を引き起こした。そこで彼は、匈奴の甘肅方面への支配を排除すると、西方への窓口となる敦煌^(c)を置き、東西交易への道を開いた。ここにいわゆる「シルクロード」の歴史が始まることになる。

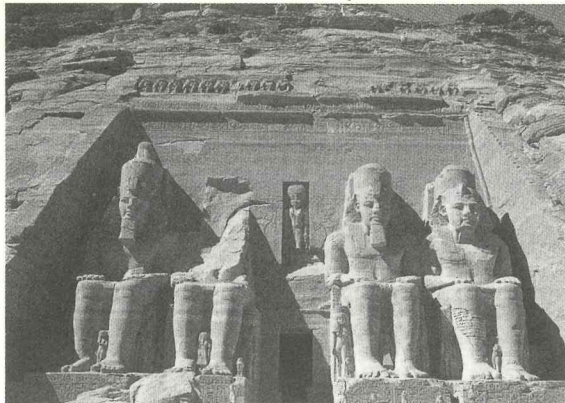
問 1 空欄(ア)、(イ)に最も適切な語句を入れなさい。

問 2 下線部(a)について、この王国を建てたのはギリシア系住民である。彼らがこの地にいた歴史的理由は何か。16字以内で説明しなさい。

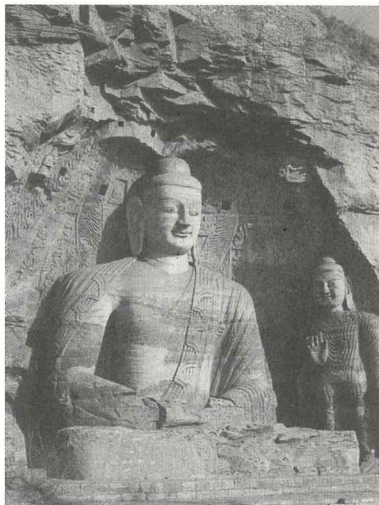
問 3 下線部(b)に関連して、この王朝のもとで花開いた仏教芸術文化は何と呼ばれるか。

問 4 下線部(c)に関連して、後年、敦煌に造られた宗教施設に該当するものを、次のA～Dから一つ選びなさい。

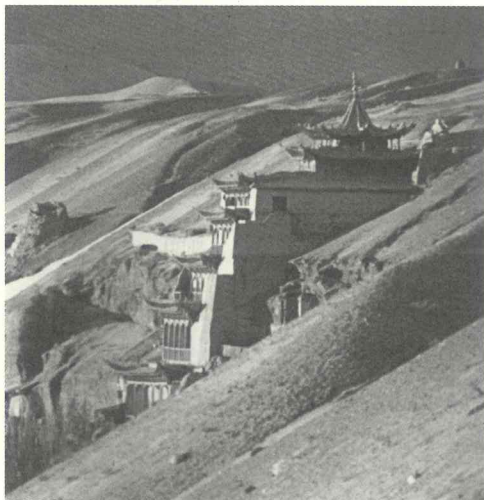
A.



B.



C.



D.



(2) 中国東北部から朝鮮半島におよぶ地域には、長く高句麗、百濟、新羅による三国時代がつづき、朝鮮史の基が築かれたが、その情勢は660年代を迎えると一変する。

660年、百濟が唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた。これによって半島情勢は大きく動き始める。唐は、長年敵対していた高句麗を背後から攻撃できる

足がかりを得た。それにたいし、百済の豪族勢力は倭国にいた百済王子を迎えて再興をはかった。倭はその動きを支援するために軍船を出し、663年に唐と新羅の連合軍と戦ったが、敗北し撤退した。^(d)

唐はこれ以後、高句麗を攻め、668年にその王都 を制圧し、長くつづいた対立に終止符を打った。唐はここに を設置して、半島を直接支配することを目論んだが、新羅の激しい抵抗にあつて撤退をよぎなくされた。

唐は高句麗を平定したのち、王族や遺民を唐の領内に強制移住させ、旧高句麗地域における反抗の芽を摘むことにした。だが7世紀末になり、中国側の統治力が緩むと、中国領内に移されていた遺民の一部は東方に脱出して自立した。それが渤海国となる。^(e)

問 5 空欄(ウ)、(エ)に最も適切な語句を入れなさい。

問 6 下線部(d)について、この戦いは何と呼ばれるか。

問 7 下線部(e)に関連して、この時期中国は、史上唯一となる女帝が統治する時代であった。その女帝は誰か。

- (3) インドとインドシナに挟まれ、北は中国西南部の雲南と境を接する位置にあるミャンマーは、早くより仏教を受け入れ、それが後世につづく精神的、文化的基盤となった。その後、様々な民族や周辺勢力との関わりの中かで歴史を形づくってきたが、なかでも11世紀に成立した は、この地に最初に開かれた統一王朝であり、13世紀末に北から攻め込んだ によって滅ぼされるまでつづいた。

下つて19世紀になると、この地域はイギリスに攻められ、3度にわたる戦争によってイギリス領インド帝国に併合されることになった。^(f)その後、独立運動がつづけられ、第二次世界大戦時に日本の統治下で名目的に独立し、戦後1948年に共和国として正式に独立を果たした。

だが国内は安定さを欠いたため、1962年に軍人ネ＝ウィンがクーデタで軍事政権を樹立し、産業の国有化などを進めたが、国内経済は停滞した。長い停滞状態に不満を抱いた国民は、1988年に民主化運動に立ち上がり、(キ)を指導者として国民民主連盟を結成し、軍事政権と厳しく対立することになった。

問 8 空欄(カ)～(キ)に最も適切な語句を入れなさい。

問 9 下線部(ク)について、この戦争は何と呼ばれるか。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

医学は、食事や衛生など人々の生活に根ざしつつ、様々な学問と結びつきながら発展してきた。また、時の政権は疫病の予防や流行への対策を行った。

古代における「医」は、予言者や占い師などが行い、祈りやまじないと不可分であった。バビロニアでは人間や社会の未来を予知する占星術がさかんになり、そこから^(a)天文学・農学などが発展した。ギリシアでは、イオニアを中心として自然哲学が発達し、「医学の父」とされる ア も出た。その後、ローマの支配は都市文化を花開かせ、上下水道や浴場の設置は公衆衛生に貢献した。

ギリシアの学問はやがてイスラーム世界で新たな展開を見せた。アリストテレス哲学を研究した学者たちが、医学の面でも活躍した。このイスラーム世界での医学の進展には、インド医学からの影響が見逃せない。古代インドの学問としては^(b)数学など自然科学が有名であるが、インド医学は哲学を含む学問領域として発展した。ヨガやマッサージもその療法の一つである。イスラーム医学の特徴は、このインドの知識以外に、古代オリエントやペルシア・ギリシアなどの知識が集大成されたところにあった。イブン=シーナーの『医学典範』を初めとするイスラーム医学の成果は、11世紀以降ラテン語に翻訳された。そして、この『医学典範』は、医学が神学・法学と並ぶ学問の柱とされた^(c)中世ヨーロッパの大学においても重用されたのである。

14世紀に入り、ペストがユーラシアで大流行した。内陸部に生息するタルバガン由来の病原菌が、モンゴル帝国の東西交通網によって広まったという。当時、ペスト流行地域と取引のあったヴェネツィアでは、流行地域からの船を一定期間隔離する検疫制度が始まった。その後、ヨーロッパでは、18世紀に イ の種痘法など現代医学に直接つながる成果が現れ、ヨーロッパの世界進出に伴い、西洋医学が世界に広がった。

中国に目を移すと、諸子百家が活躍した戦国時代には、各国を遊説する思想家と同様に遍歴する^(e)医者も現れた。その後、後漢末から西晋にかけて『傷寒論』が^(f)成立し、伝統中国医学の古典となった。また、中国における医学は「医食同源」の言

葉のとおり、食事や薬草によって自然治癒力を高めることを特徴とし、薬膳や気功、鍼灸など独自の療法を確立させた。^(g)

中国では長らく、儒学が知識や学問の中心と見なされ、医学を含めた実用的な学問は低い地位に置かれていた。^(h)しかし、西アジアとの交流やキリスト教宣教師たちを通してイスラーム及び西洋の知識が伝わると、医学や数学なども徐々に重視されるようになっていった。そして、清末の洋務運動から変法自強への思潮の変化の中で、この流れは決定的となり、20世紀に入ると、医学を学ぶために日本へ留学する人物も現れた。⁽ⁱ⁾^(j)

近年、SARS、新型インフルエンザなどの流行は、人と物の動きが活発化した現代において世界全体の問題として浮上した。疾病や環境への対策も国家を越えて行われるようになってきている。^(k)

問 1 空欄(ア)、(イ)に入る語句として、正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- | | |
|----------------|-----------|
| A. (ア) ガレノス | (イ) ハーヴェー |
| B. (ア) ヒッポクラテス | (イ) ジェンナー |
| C. (ア) ガレノス | (イ) ジェンナー |
| D. (ア) ヒッポクラテス | (イ) ハーヴェー |

問 2 下線部(a)に関連して、バビロニアの中心都市バビロンは現在のどの国にあるか。最も適切な国名を一つ選びなさい。

- | | |
|----------|------------|
| A. イラク | B. サウジアラビア |
| C. クウェート | D. イラン |

問 3 下線部(b)に関連して、古代インドについての説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. アショーカ王が石柱碑を建てた。
- B. ゼロの概念が生み出された。
- C. ヴァルナとよばれる宗教文献が編纂された。
- D. 牛と文字を彫った印章が作られた。

問 4 下線部(c)に関連して、ヨーロッパで最古の大学として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. オックスフォード大学
- B. ケンブリッジ大学
- C. パリ大学
- D. ボローニャ大学

問 5 下線部(d)に関連して、その説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 元では、大都を都とした。
- B. イル=ハン国では、『集史』が編纂された。
- C. チャガタイ=ハン国では、パスパ文字が作られた。
- D. キプチャク=ハン国では、モスクワ公国が地位を高めた。

問 6 下線部(e)に関連して、戦国時代の説明として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 蘇秦と張儀が合従・連衡策を戦わせた。
- B. 有力諸侯が覇者として尊皇攘夷を主張した。
- C. 齊で均輸法が施行された。
- D. 秦は儒家の思想を採用して統一を目指した。

問 7 下線部(f)に関連して、後漢から西晋時代に関する説明として誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 党錮の禁が行われた。
- B. 清談が流行した。
- C. 九品官人法が施行された。
- D. 均田制が施行された。

問 8 下線部(g)に関連して、明代に出版された中国医薬に関する書物を一つ選びなさい。

- A. 永楽大典
- B. 天工開物
- C. 農政全書
- D. 本草綱目

問 9 下線部(h)に関連して、儒教に関する出来事とそれに関わった人物の組み合わせとして最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 訓詁学の成立—董仲舒 B. 五経正義の編纂—孔穎達
C. 陽明学の成立—周敦頤 D. 考証学の成立—李贄

問10 下線部(i)に関連して、変法自強期までの出来事としてふさわしくないものを一つ選びなさい。

- A. 壬午軍乱への出兵 B. フランスの広州湾租借
C. イリ条約の締結 D. 日清修好条規の締結

問11 下線部(j)について、医学を目指して日本に留学した経歴を持つ人物を一人選びなさい。

- A. 孫 文 B. 梁啓超
C. 魯 迅 D. 康有為

問12 下線部(k)に関連して、国際連合で保健衛生を担当する専門機関を一つ選びなさい。

- A. FAO B. ILO
C. PKO D. WHO

〔IV〕 次の文章(1)～(3)を読み、下記の問いに答えなさい。

- (1) 明治5年(1872年)7月、岩倉具視をはじめとする使節団がアメリカを經由してロンドンに到着した。そのときの記録は次のように伝えている。「当今欧羅巴各国、ミナ文明ヲ輝カシ、富強ヲ極メ、貿易盛ニ、工芸秀テ、人民快美ノ生理ニ、悦楽ヲ極ム。…欧州今日ノ富庶ヲミルハ、一千八百年以後ノコトニテ、著シク此景象ヲ生セシハ、僅ニ四十年ニスキサナルリ」(久米邦武編・田中彰校注『米欧回覧実記』。一部句読点を改めた箇所がある。以下同じ)、という。

問 1 アメリカ滞在中、岩倉使節団は「アメリカ独立宣言」の翻訳を試みている。独立宣言本来の最初の部分では、基本的人権とならんで、暴政を行う政府を破棄して新たな政府を創設する権利がうたわれている。この権利を何というか。

問 2 使節団がアメリカを出発してから26年後(1898年)、領土拡大を目指すアメリカがスペインとの戦争によって獲得したアジアの地域はどこか。

問 3 使節団が訪れる以前のヨーロッパにおける次の出来事を古い順に並べなさい。

- A. オーストリア＝ハンガリー帝国の成立
- B. プロイセン＝オーストリア戦争
- C. イタリア統一
- D. デンマーク戦争の開始

問 4 下線部(a)に関連して、フランス革命およびナポレオン戦争の後、ヨーロッパでは反動政策が推し進められた。この政策を担った人物を失脚させた19世紀中葉の出来事は何か。

問 5 使節団が見たヨーロッパの繁栄は工業化の進展によるものであった。他方、工業化に伴う病気の拡大が社会の問題となった。19世紀後半になると、医学の発展によって改善が見られた。特に、70・80年代は西洋医学史における画期であった。当時、活躍した細菌学者を一人あげなさい。

(2) 明治6年(1873年)4月、同じ岩倉使節団がある国の首都を訪れた際の記述は、以下のように書かれている。「英、仏、白、蘭ハ平民ニ人物富豪ノ多キコト、^(b)貴族ニ超ユ、故ニ全地ミナ繁昌シテ、民権モ亦盛ナリ、独逸(奥国ヲ兼ヌ)、以太利ハ貴族ノ富、平民ニ超ユ、故ニ文物ノ觀ルヘキモ、全国ハ猶貧ナルヲ免レス。因テ君権ハ民権ヨリ盛ンナリ」。それに較べて、この国は「全ク貴族ノ開化ニテ、人民ハ全ク奴隸ニ同シ。…専制ノ下ニ圧抑セラルハモ、此ノ成形ニヨル」、と。

問 6 下線部(b)について、その都市名を答えなさい。

問 7 下線部(c)に関連して、それらの国々の繁栄の背景には世界各地の植民地化や分割があげられる。ケープ植民地に入植した「蘭」系移民の子孫が建設した国を一つ答えなさい。

問 8 下線部(d)に関連して、この国では、使節団が訪れる10年ほど前からクリミア戦争の敗北を契機に一連の改革が行われていた。その発端となった農民問題に関する法令は何か。

問 9 下線部(d)に関連して、この国の皇太子は、使節団訪問から18年後(1891年)、世界周航の途中で日本を訪れ、大津事件に遭遇した。それは極東の一都市で行われる国家プロジェクトの起工式に参列する途上の出来事であった。そのプロジェクトは何か。

